

少女まんが館蔵書の整理・メタデータ化プロジェクト



有限会社さるすべり

概要／課題

少女まんが館は「少女まんが世界」の永久保存を目指し、1997年に創設された少女マンガ専門の私設図書館で、2002年から週一回の一般公開を実施している。開架式のため、手軽に見て触ることができる。収蔵品は少女マンガファンなどからの寄贈により、明治時代から主に2000年までに発行された少女雑誌や少女マンガ雑誌とそのふろく、コミックスや単行本、貸本、関連書籍やグッズ類など、多岐にわたる。

だが、次々と届く寄贈書類は本棚100本に収まらず、未整理のものが段ボール箱300個、プラスチックケース90箱ほどになり収蔵能力を超えている。また、近年、未整理の中に他の関連施設にない唯一の存在が明らかになり、蔵書の整理とメタデータ化の必要を痛感した。

本事業は、これまで個人レベルで運営してきた少女まんが館をより利用しやすくし、蔵書をメタデータ化するためのものである。本館の蔵書を整理しつつ、重複分などの検分と総量（総冊数）調査、一部蔵書のメタデータ化を実施した。

収蔵能力を超えたことの解決策として熱海分室を設置、重複分は分室へ移動する予定である。

体制

アドバイザー：池川佳宏（熊本大学）

進行管理：中野純、大井夏代（有限会社さるすべり）

蔵書整理・データ入力：上記2名に加えてアルバイト3名

データベース構築：田中二郎（ねりまど〜るインターネット）



成果

これまで推定で蔵書6万冊超と公表してきたが総数は40,433冊であることが判明（未着手分のふろく・グッズ・原画などを含めると、収蔵点数は約6万点に近づくと思われる）。本棚や段ボール箱をナンバリング、大まかに整理した段ボール箱にはメモを書き、どこに何があるのか、ほぼわかるようになった。検分した重複分は木箱や段ボール箱など135箱に格納。熱海分室へ送る準備が整った。雑誌2,000冊以上をMADBデータを基にリスト化。蔵書検索を可能にした。

（公開方法）

- 少女まんが館蔵書検索 <https://www.nerimadors.or.jp/~jomakan/data/>
（令和6年3月18日より公開）
- 例年通り、4～10月までの毎土曜日午後、一般公開

（残された課題）

未着手分として、ふろく類が入った箱など34個、雑誌の一部作品切り抜き6箱分が残った。また、大半の蔵書のメタデータ化も未着手。ふろく類の点数調査とリスト化、本館蔵書をより見やすくわかりやすく並べることも、今後の課題である。

（文化的・社会的・経済的な意義）

- 少女マンガファンはもちろん、女性問題やジェンダー研究者にとっても、貴重な一次資料を手軽に検索し、閲覧できる場に近づいた。
- 日本のオリジナル文化といわれる「少女マンガ」の文化的資産を肉付けできた。
- 日本全国、海外からも老若男女が来館しやすくなり、タクシー利用、周辺地域の飲食店や観光施設への経済的波及がより大きく見込まれる。

